

株主、投資家、取引先、社員のみなさまへ

第20期 中間報告書

2008年3月1日から2008年8月31日まで



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード: 7608)



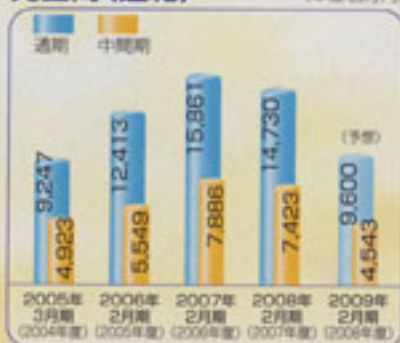
ISO 9001 認証取得 242286 大塚・東京



Financial Highlights 財務ハイライト

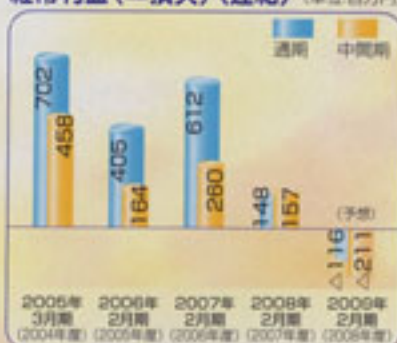
売上高(連結)

(単位:百万円)



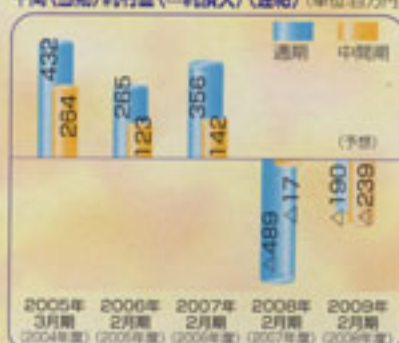
経常利益(△損失)(連結)

(単位:百万円)



中間(当期)純利益(△純損失)(連結)

(単位:百万円)

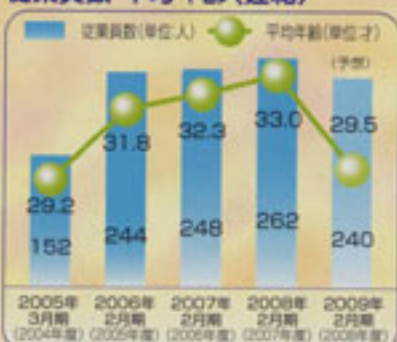


自己資本・自己資本比率(連結)

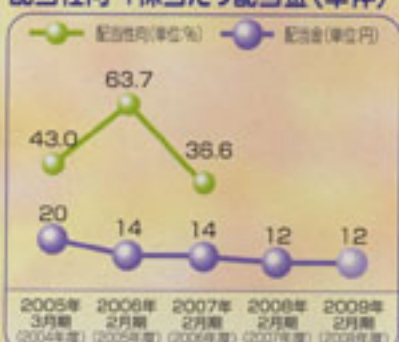
(単位:百万円、%)



従業員数・平均年齢(連結)



配当性向・1株当たり配当金(単体)



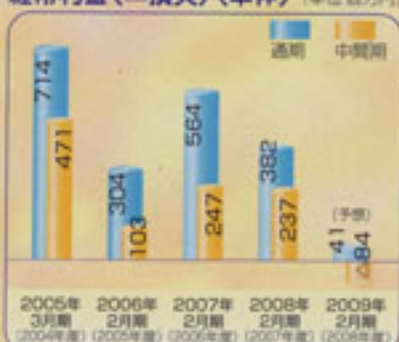
売上高(単体)

(単位:百万円)



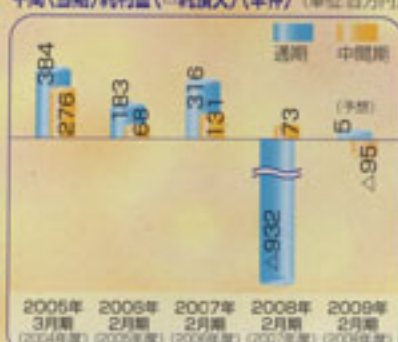
経常利益(△損失)(単体)

(単位:百万円)



中間(当期)純利益(△純損失)(単体)

(単位:百万円)



- (注) 1. 1株当たり配当金のうち、2005年3月期には東証・大証一部上場の記念5円および創立15周年の記念3円、2006年2月期および2007年2月期には好業績による2円の増配をそれぞれ含んでおります。
 2. 当社は2006年2月期から事業年度末日を毎年3月31日から毎年2月末日へ変更いたしました。これに伴い、上記の2006年2月期の通期の業績は11ヶ月間(2005年4月1日～2006年2月28日)の業績を記載しております。





マネジメント・メッセージ

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第20期中間（2008年3月1日から2008年8月31日まで）の連結業績につきましては、物販業界向け販売部門およびSP部門は比較的堅調に推移したものの、アミューズメント業界向け販売部門は、ヒットキャラクターの不在、販売先であるアミューズメント施設の来場客数の減少等で苦戦を強いられました。また、小売事業は、取扱商品の見直しを進めながらマーチャンダイジング改革を推進し、同時に既存店舗の改革も順次進めましたが、収支のバランスがとれない状況が続きました。

以上の結果により、連結売上高は4,543百万円（前中間期比61.2%）、連結経常損失は211百万円（前中間期は157百万円の経常利益）、連結中間純損失は239百万円（前中間期は17百万円の中間純損失）となりました。みなさまには多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

今後は、本業である卸売事業を強化するために、特に商品企画部門への人材投入を増強します。また、小売事業は取扱商品のMD全般から再度見直し、お客さまに支持される店舗づくりに努めてまいります。

これからもエスケイジャングループ全体の競争力と収益力の向上およびマネジメント体制の強化に全力を挙げて取り組んでまいりますので、一層のお引き立て、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2008年11月



代表取締役社長
久保 敏志

SK JAPAN GROUP



株式会社 エスケイジャパン



株式会社 サンエス



株式会社 ケー・ディー・システム



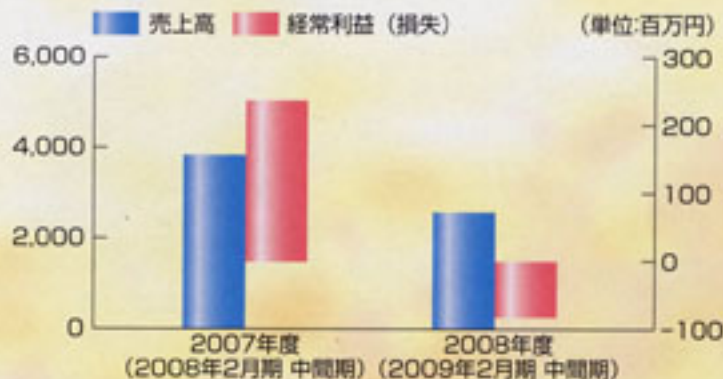
株式会社 ナカマキヤ





Topics

エスケイジャパン (アミューズメント施設向けおよび販売促進商品の企画・製造・販売)



第46回アミューズメントマシンショー (2008/9/18-9/20 幕張メッセ)

売上高 (2,588百万円) 前中間期比32.6%の減収

アミューズメント業界向け販売部門の売上高は、2,018百万円と前中間期比38.2%の減収となりました。ヒットキャラクター不在の中、家庭用ゲーム機の高調やガソリン価格の高騰で、大手アミューズメント施設の既存店売上高が前年比で2桁台の落ち込みとなるケースも珍しくないなど、大半の企業が苦戦を強いられました。この状況の中、当社は「ジャンクSPORTS浜田大明神」等の新キャラクターや、ドラえもんの新シリーズとして「さくらドラえもん」等を発売し、人気を博しましたが全体の業績を押し上げるまでには至りませんでした。SP部門の売上高は、556百万円と前中間期比4.7%の増収となりました。出版業界を中心としたクライアントを絞った営業活動を推進した結果、雑誌の付録等の受注が好調であり、前期の実績を超える成績を収めることができました。今後は出版業界のみならず、食品業界・金融業界等への販路も拡大していきます。この結果、エスケイジャパン全体の売上高は2,588百万円と前中間期比32.6%の減収となりました。

経常損失 (84百万円) 前中間期は237百万円の経常利益

経常損失は84百万円となりました。コストダウンを図り販売費及び一般管理費が前中間期に比べて58百万円減少したものの、前中間期に比べて32.6%の減収であったことおよび売上総利益率が前中間期に比べて2.1ポイントダウンしたこと等がその主な要因です。今下半期から来期にかけては、商品企画部門への積極的な人材投入を実施して企画力の強化を図り、大手チェーン店向けの営業を増強することにより、売上高のボリュームアップを推進します。



ちびまる子ちゃん両面お楽しみクッションの巻
©さくらプロダクション/日本アニメーション



まるねこCLUBでのひらぬいぐるみ
©SK JAPAN CO.,LTD.

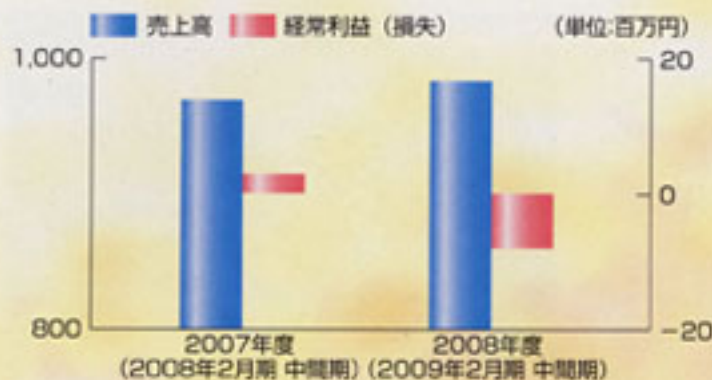


さくらドラえもんどら焼きクッションSJ
©FujiCo-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK





サンエス (物販業界向け商品の卸販売)



第6回千代トショー2008秋
(2008/9/2~9/5 東京ビッグサイト)

売上高 (984百万円) 前中間期比1.4%の増収

売上高は、984百万円と前中間期比1.4%の増収となりました。営業面では、チェーン店への積極的な販売活動に加え、顧客ニーズに対応した商品提案に努めてまいりました。商品面では、コンビニ向けに企画した「ミニビッグヘッドフィギュア ドラゴンボールZ Vol.2」や「仮面ライダー ショッカー」、「リラクマ」等のたくたくマグネットが好調に推移し売上高の増加に貢献しました。

経常損失 (8百万円) 前中間期は3百万円の経常利益

経常損失は8百万円となりました。売上総利益は前中間期比で14百万円増加しましたが、販売費及び一般管理費の増加(前中間期比で26百万円増加)をカバーすることができず、経常損失を計上する結果となりました。今下半期から来期にかけては、オリジナル商品強化による利益率のアップを図り、増収増益の基盤づくりに努めます。



ミニビッグヘッドフィギュア ドラゴンボールZ vol.2
©バードスタジオ / 集英社・東映アニメーション
発売元: (株)プレックス



ガチャピン×ムック ATM/ピンク
©2008 FUJITSU KIOS

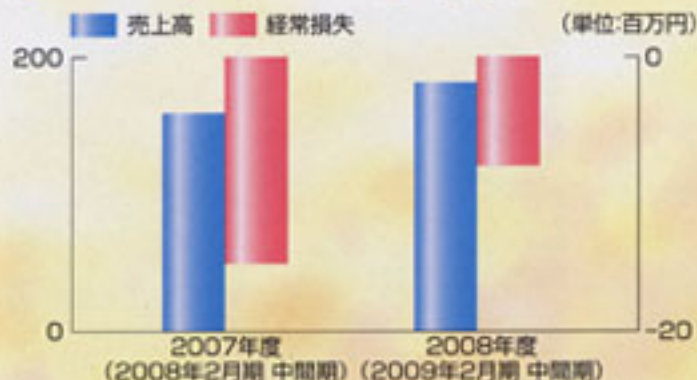


仮面ライダー ショッカー-たくたくマグネット
©石森プロ・東映 発売元: ㈱プレックス





ケー・ディー・システム (電子玩具・電子機器の企画開発・販売)



第66回ギフトショー2008秋
(2008/9/2~9/5 東京ビッグサイト)

売上高 (183百万円) 前中間期比14.7%の増収

売上高は、183百万円と前中間期比14.7%の増収となりました。グループのメーカー部門として商品企画を充実したことにより、グループ企業への売上高は123百万円(前中間期比38百万円の増加)となりました。

経常損失 (8百万円) 前中間期は15百万円の経常損失

経常損失は8百万円となりました。前述のとおり売上高は増加し、原価率も改善しましたが、人件費等の増加によって販売費及び一般管理費は前中間期に比べて700千円増加したため、経常損失を計上する結果となりました。今下半期から来期にかけては、グループ企業以外の販路(花卉流通、アパレル等)を開拓し、売上高のボリュームアップを図ります。



ドラえもん メガネスタンド

©Fukuro Pro, Shogakukan, TV Asahi, Shin-Ei Land, AOKI



リラクマジュエリーシール

©2008 SAN-X CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. Licensed by GREEN CAMEL

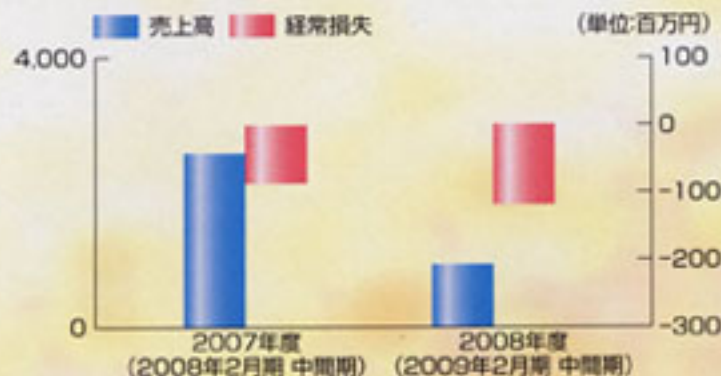


カビバラさん リトルガーデン

©TIRYWORKS 発売元: 株式会社プレックス



ナカヌキヤ (キャラクターグッズ、生活雑貨、化粧品、フレグランス等の販売)



売上高 (958百万円) 前中間期比63.5%の減収

売上高は、958百万円と前中間期比63.5%の減収となりました。家電商販販売からの撤退、高額インポート商品の縮小とそれに伴う店舗撤退、加えてそれをカバーする新規出店ができていないことから、売上高が大幅に減少しました。この結果、2008年8月末現在の店舗数は5店舗となりました。

経常損失 (117百万円) 前中間期は85百万円の経常損失

経常損失は117百万円となりました。早期退職優遇制度を前期末に実施したため、社員数がほぼ半分に減少したこと等により、販売費及び一般管理費が前中間期に比べて333百万円減少しましたが、減収による売上総利益高の減少により経常損失を計上する結果となりました。

新しい形態の店舗を出店

イオンモール福岡ルクルと、大阪のクリスタ長堀に、ナカヌキヤから新たに“day after day”というお店がオープンしました。お店のコンセプトは“イキイキ活動する「キャリア&OL層」に向けて”。店内はお客さまのニーズを意識したファッショングッズ、オフィスで使えるちょっとかわいいステーションリーやインテリアグッズを、プライス・アイテム数とともに“選ぶ楽しさ”のある商品で構成されており、トレンドと自分らしさを表現できるアイテムを描いた女性のライフシーンを楽しく彩るSHOPです。

なお、この2店舗は催事店舗であり、クリスタ長堀店は2009年2月、福岡ルクル店は2009年3月までの期間限定営業を予定しています。





Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

○連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年8月31日現在)	当中間期 (2008年8月31日現在)	前期 (2007年2月29日現在)
(資産の部)				
流動資産		3,731	2,584	3,224
現金及び預金		1,017	601	958
受取手形及び売掛金		1,555	1,162	1,193
棚卸資産		978	595	626
その他の資産		185	229	450
貸倒引当金	△	4	5	5
固定資産		1,820	1,331	1,365
有形固定資産		623	511	490
建物及び構築物		267	194	199
土地		278	278	278
その他の		58	38	12
無形固定資産		7	5	5
投資その他の資産		1,188	814	869
投資有価証券		205	167	188
その他の		987	660	688
貸倒引当金	△	4	13	7
① 資産合計		5,551	3,915	4,590
(負債の部)				
流動負債		2,343	1,664	1,918
買掛金		1,564	957	1,026
短期借入金		310	268	302
その他の		469	339	588
固定負債		101	91	128
繰り保証金		25	0	0
退職給付引当金		71	85	89
その他の		4	6	38
負債合計		2,444	1,656	2,045
(純資産の部)				
株主資本		3,099	2,247	2,536
資本金		440	440	440
資本剰余金		471	471	471
利益剰余金		2,196	1,385	1,674
自己株式	△	9	50	50
評価・換算差額等		2	0	0
新株予約権		5	11	9
純資産合計		3,107	2,259	2,545
負債純資産合計		5,551	3,915	4,590

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○中間連結株主資本等変動計算書 (2008年3月1日から2008年8月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
2008年2月29日 残高	440	471	1,674	△ 50	2,536	0	△ 0	△ 0	9	2,545
中間連結会計期間中の変動額			△ 49		△ 49					△ 49
剰余金の配当			△ 239		△ 239					△ 239
中間純損失										△ 0
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
新株予約権の行使									2	3
中間連結会計期間中の変動額合計			△ 288	△ 0	△ 289	0	0	0	2	△ 285
2008年8月31日 残高	440	471	1,385	△ 50	2,247	0	0	0	11	2,259

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年8月31日現在)	当中間期 (2008年8月31日現在)	前期 (2007年2月29日現在)
① 売上高		7,423	4,543	14,730
売上原価		5,578	3,410	11,116
売上総利益		1,844	1,132	3,614
販売費及び一般管理費		1,692	1,335	3,458
営業利益(△損失)		152	△ 202	155
営業外収益		18	21	42
営業外費用		13	29	49
経常利益(△損失)		157	△ 211	148
特別利益		36	31	42
特別損失		103	35	432
経常経常損益(△損失)		89	△ 215	△ 241
法人税、住民税及び事業税		119	1	230
法人税等調整額	△	11	22	18
中間(当期)純利益(△損失)		17	△ 239	△ 489

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期 (2007年8月31日現在)	当中間期 (2008年8月31日現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー			581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	16	△ 18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	100	△ 83
現金及び現金同等物に係る換算差額			△ 2
現金及び現金同等物の増減額			463
現金及び現金同等物の期首残高		553	958
① 現金及び現金同等物の中間期末残高		1,017	601

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



Non-Consolidated Financial Statements 単体財務諸表



○貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		(2007年8月31日現在)	(2008年8月31日現在)	(2007年8月29日現在)
(資産の部)				
流動資産		2,088	1,514	1,716
現金及び預金		705	484	772
受取手形及び売掛金		1,124	761	748
棚卸資産		181	202	126
その他の債権		78	67	70
貸倒引当金	△	1	1	0
固定資産		2,222	1,378	1,395
有形固定資産		486	500	479
建物及び構築物		196	186	191
土壌		278	278	278
その他の債権		11	8	8
無形固定資産		5	3	2
投資その他の資産		1,729	874	913
投資有価証券		205	167	188
貸倒引当金		1,671	1,666	1,669
貸倒引当金	△	147	95	944
資産合計		4,310	2,893	3,112
(負債の部)				
流動負債		1,187	743	818
買掛金		839	561	538
短期借入金		70	28	62
その他の債権		277	163	217
固定負債		70	335	338
退職給付引当金		70	85	87
その他の債権		0	250	250
負債合計		1,257	1,079	1,156
(純資産の部)				
株主資本		3,044	1,802	1,946
資本金		440	440	440
資本剰余金		471	471	471
利益剰余金		2,141	940	1,084
自己株式	△	9	50	50
評価・換算差額等		2	0	0
新株予約権		5	11	9
純資産合計		3,052	1,814	1,955
負債純資産合計		4,310	2,893	3,112

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

○損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期	前期
		(2007年8月31日現在)	(2008年8月31日現在)	(2007年8月29日現在)
① 売上高		3,840	2,588	7,315
売上原価		2,854	1,977	5,454
売上総利益		986	610	1,860
販売費及び一般管理費		756	697	1,483
営業利益(△損失)		230	88	377
営業外収益		18	28	49
営業外費用		11	28	44
② 経常利益(△損失)		237	84	382
特別利益		36	10	38
特別損失		122	0	1,175
経常外損益(△損失)		150	73	755
法人税、住民税及び事業税		115	0	196
法人税等調整額	△	38	20	19
中間(当期)所得税(△損失)		73	95	932

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Check Point ①

流動資産が前中間期比で1,146百万円減少したこと等により、資産合計は前中間期比で1,536百万円減少しました。

Check Point ②

アミューズメント業界向け販売部門および小売事業の低迷により、売上高は4,543百万円(前中間期比38.8%減)となりました。

Check Point ③

税金等調整前当期純損失であったこと、未払金の減少額および法人税等の支払額等の要因により、当中間期末残高は601百万円となりました。

Check Point ④

SP部門は整理に着手しましたが、アミューズメント業界向け販売部門が、主な販売先である大手アミューズメント施設の低迷および前中間期に大ヒットした「コスチュームキュービー」に代わる商品を企画できなかった等の要因により、売上高は2,588百万円(前中間期比32.6%減)となりました。

Check Point ⑤

販売費及び一般管理費は前中間期比で7.8%減少しましたが、減収および原価率のアップ等の要因により、経常損失は84百万円(前中間期は237百万円の経常利益)となりました。

○中間株主資本等変動計算書(2008年3月1日から2008年8月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
2008年2月29日 残高	440	471	1,084	△ 50	1,946	0	△ 0	△ 0	9	1,955
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 49		△ 49					△ 49
中間純損失			△ 95		△ 95					△ 95
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
新株予約権の行使						0	0	0	2	3
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△ 144	△ 0	△ 144	0	0	0	2	△ 141
2008年8月31日 残高	440	471	940	△ 50	1,802	0	0	0	11	1,814

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。





Corporate Profile 会社の概要 (2006年8月31日現在)

○会社概要

商 号 株式会社エスケイジャパン
 英文社名 SK JAPAN CO.,LTD.
 設 立 1989年12月14日
 大阪本社 〒540-0005 大阪市中央区上町1-4-8 エスケイビル
 東京本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-33-7 エスケイビル
 名古屋営業所 〒453-0041 名古屋市中村区本陣通2-32 HIKARIビル6階
 福岡営業所 〒812-0041 福岡市博多区古塚2-16-11 エスケイビル
 資本金 440,948,911円
 従業員数 116名

(グループ合計228名 平均年齢30.6才)
 事業内容 キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、
 家庭雑貨、携帯電話アクセサリグッズ、
 プライズ商品等の企画・製造・販売

主要取引先 美アスモ、美アスリートワン、美アトラス、アドアーズ系、
 美アプレシオ、美アマバラ、美アミューズメント タカ、
 美アマリッド、美イオンファンタジー、エイトレジャー物産系、
 美エッグボックス、美角川書店、美カプコン、カルビー系、
 美共和コーポレーション、美ケイ・キャット、美グオサプライ、
 コナミ系、美コミュニケーション・ワークス、美コロナ、美ザ
 サードプラネット、美シチエ、美小学館、昭和開発系、美ス
 ガイ・エンタテインメント、美ソニー、美長崎商事、美タイトー、
 テクモウェア系、美豊島屋、美トムス・エンタテインメント、
 ドリームインフィニティ系、美水谷園、美ナムコ、日本テレ
 ビ放送網系、美ニューギン、美ハーマン、美ハローズ、美パ
 ンプレスト、美ファンフィールド、美レビィ系、美プロボックス、
 美東商事系、美マタハリー、美マルハン、美ミヤサン、美永
 乳業系、美悦津ミッツ、美山崎屋、美ユーイング、美UCO、
 美ラウンドワン、美ワイドレジャー

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行
 三菱UFJ信託銀行株式会社 住友信託銀行株式会社
 株式会社十八銀行

役 員 代表取締役社長 久 保 敏 志
 常務取締役(商品担当) 八 村 博 徳
 取 締 役(営業担当) 中 村 英 記
 取 締 役(管理担当) 川 上 優
 監 査 役 西 田 昌 弘
 監 査 役(社外監査役) 菅 生 弘
 監 査 役(社外監査役) 出 原 新 敏

○子会社の概要

商 号 株式会社サンエス
 英文社名 SAN-S CO.,LTD.
 設 立 1993年9月9日
 代 表 者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等の
 キャラクターグッズの物販業界向け卸販売
 資本金 10,000,000円
 主要取引先

イオン系、美イズミ、美ITS DEMO、美ヴィレッジヴァ
 ンガードコーポレーション、美オリンピア、美キティラン
 ド、美雑誌屋ブルドッグ、ジェイアール九州リーテイル系、
 美しまむら、美中商事系、美東急ハンズ、美ドン・キホーテ、
 日本トイザらス系、美博品屋、美/スポーツ、美平和堂、
 プラズスタイル系、美ホビーベース・イエローサブマリン、
 美マイカル、美リテイルネットワークス、美ロフト

株式会社ケー・ディー・システム
 英文社名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
 設 立 2002年11月25日
 代 表 者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 電子玩具・電子機器の企画開発・販売
 資本金 40,000,000円
 主要取引先

美エスシー、美イトワール海渡、美エボックス、
 美オーム電機、美河田、美サンヨープレジャー、中越
 自動車用品系、美ソツセル、寺内系、美ハセ・プロ、
 ベネリック系、美マリモクラフト、美三日月百子、
 三菱文具系、美ラスタバナナ、美ラナ

株式会社ナカヌキヤ
 英文社名 NAKANUKIYA CO.,LTD.
 設 立 2005年5月20日
 代 表 者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キャラクターグッズ、生活雑貨、コスメ、
 インポートブランド商品等の販売
 資本金 30,000,000円
 主要取引先

美ウエニ貿易、美宇津木産業、カネボウ化粧品販売
 系、美キティランド、コーセー化粧品販売系、小泉
 成器系、資生堂販売系、SHO-BI Corporation系、
 美スクウェア・エニックス、美セガ、美ドクシシャ、
 パナソニックコンシューマーマーケティング系、
 美バルタック、美阪神タイガース、美メイクアップ

○会計監査人

監査法人トーマツ (業務執行社員が執務する事務所)
 〒541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング



Stock Information 株式情報 (2008年8月31日現在)



○発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
12,381,000株	8,359,103株	3,177名

※ 発行済株式の総数には、自己株式133,125株が含まれています。

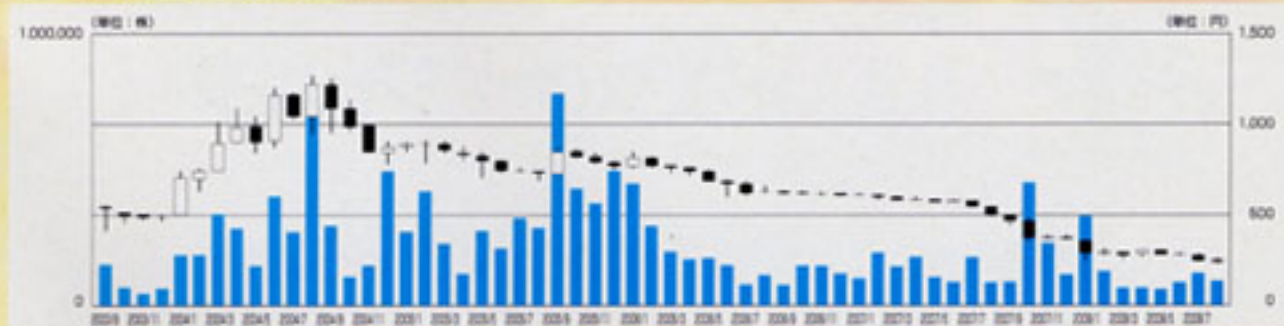
○株式の所有者別状況

	2007年2月期 (2007年2月28日現在)		2008年2月期 (2008年2月29日現在)		2009年2月期中間期 (2009年8月31日現在)	
	株名	株名	株名	株名	株名	株名
個人	7,511,958	3,248	7,714,259	3,128	7,734,018	3,069
外国法人等	148,160	23	123,154	21	127,646	20
証券会社	49,046	21	47,673	21	33,522	15
金融機関	341,083	34	309,519	28	320,619	27
その他の法人	296,481	53	164,498	46	143,298	46

○大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久保敏志	3,740,436	44.74
鈴木康友	231,800	2.77
八百博徳	142,743	1.70
田中美晴	137,200	1.64
株式会社エスケイジャパン2(自己株式)	133,125	1.59
興一久	122,400	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	90,300	1.08
エスケイジャパン従業員持株会	83,754	1.00
中村英記	82,221	0.98
イーエフジーバンク	81,607	0.97

○株価および株式売買高の推移



※当社は2003年11月20日付で1株につき1.2株の分割を、2004年5月20日付で1株につき1.3株の分割を、2004年11月19日付で1株につき1.1株の分割を実施したため、株価の調整を行っております。



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年 5月
(定時)株主総会の基準日	毎年 2月末日 その他必要があるときは予め公告をして定めます。
剰余金の配当の基準日	期末 毎年 2月 末日 中間 毎年 8月31日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎0120 (094) 777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 ☎0120 (244) 479 (本店証券代行部) ☎0120 (684) 479 (大阪証券代行部) ☎http://www.tr.mufj.jp/daikou/

公告方法	電子公告 (アドレス http://www.sk-japan.co.jp)
証券コード	7608
単元株式数	100株
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所市場第一部 株式会社大阪証券取引所市場第一部

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした中間配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2008年12月30日(火)までとなっております。中間配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でお早めにお受け取りください。

もしお受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行ならびに郵便局(銀行代理業者)でのお受け取りができなくなります。中間配当金領収証の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご郵送ください。

中間配当金領収証を紛失された場合は…

三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数を必要としますので、予めご了承ください。



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード：7608)

お問い合わせ先

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目4番8号 エスケイビル
株式会社エスケイジャパン 経営企画室IR担当：野崎 伸一 阿部 恵美
TEL：06 (6765) 1355 (直通) FAX：06 (6765) 0880
E-MAIL：ir@sk-japan.co.jp (IR専用)

ホームページもご覧ください。

<http://www.sk-japan.co.jp>

IR情報や財務状況、また社員日記など当社の情報を掲載しております。是非当社ホームページにアクセスしてください。



みんなで止めよう温暖化

(株)エスケイジャパン チーム・マイナスイキ

